



## 2020年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 株式会社オークファン 上場取引所 東  
 コード番号 3674 URL <https://aucfan.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武永 修一  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 山田 圭祐 TEL 03(6809)0951  
 定時株主総会開催予定日 2020年12月23日 配当支払開始予定日 ー  
 有価証券報告書提出予定日 2020年12月23日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（当社ホームページに動画掲載）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2020年9月期の連結業績（2019年10月1日～2020年9月30日）

#### （1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期	7,874	18.7	820	20.8	808	20.4	428	31.0
2019年9月期	6,636	13.2	679	65.4	672	58.7	327	46.1

（注）包括利益 2020年9月期 4,847百万円（－％） 2019年9月期 304百万円（37.4％）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年9月期	41.81	41.14	7.6	8.6	10.4
2019年9月期	32.54	31.22	11.1	11.8	10.2

（参考）持分法投資損益 2020年9月期 ー百万円 2019年9月期 ー百万円

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期	13,382	8,115	60.5	784.95
2019年9月期	5,515	3,222	58.2	312.95

（参考）自己資本 2020年9月期 8,102百万円 2019年9月期 3,208百万円

#### （3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年9月期	824	△287	813	2,704
2019年9月期	△6	△322	△411	1,354

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年9月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00	ー	ー	ー
2020年9月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00	ー	ー	ー
2021年9月期(予想)	ー	0.00	ー	0.00	0.00		ー	

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,900	38.4	1,300	58.4	1,250	54.5	800	86.6	78.03

（注）当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料5ページ「1. 経営成績の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 1社 （社名） オークファンインキュベートファンド1号投資事業有限責任組合、 除外 1社 （社名） -

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2020年9月期	10,539,400株	2019年9月期	10,469,400株
2020年9月期	216,933株	2019年9月期	216,851株
2020年9月期	10,252,911株	2019年9月期	10,054,374株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料における記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明内容の入手方法について）

当社は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、従来開催しておりました決算説明会に代えて、2020年11月16日に決算説明動画を当社ホームページにて配信する予定です。

この動画配信で利用する決算補足説明資料は、決算短信開示後速やかにTDnet及び当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益及び包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(表示方法の変更)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、「あらゆる人が、あらゆる場所で、あらゆるモノを売り買いできる新たな時代を創る」というミッションを掲げ、「グローバルな循環型消費社会の先駆者であり続ける」というビジョンのもとに、在庫に悩む企業の「主治医」として流通を最適化するべく、AIと膨大な蓄積データを用いて在庫価値を可視化・最適化する在庫価値ソリューション事業、滞留商品の流通を支援する商品流通プラットフォーム事業及び、事業投資活動等を行うインキュベーション事業を展開しております。

当社グループは、消費者に届けられることなく廃棄される約22兆円の法人在庫(※)に着目し、創業来蓄積した大量の商品実売データを基に、これらの在庫を「適切な価格で」「適切なマーケットに」お届けする支援を行ってまいりました。EC関連企業を子会社化したことにより、相場データのみならず自ら積極的に流通に関与するマーケットプレイス市場への本格展開も果たしてまいりました。

このような中、商品在庫廃棄年間22兆円の巨大市場の攻略に向け、当連結会計年度より商品流通プラットフォーム事業及び在庫価値ソリューション事業の本格的展開・加速に向け、一層の事業推進を行いました。

以上の結果、当連結会計年度における売上高は7,874,480千円(前年同期比18.7%増)、営業利益は820,884千円(前年同期比20.8%増)、経常利益は808,986千円(前年同期比20.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は428,692千円(前年同期比31.0%増)となりました。

また、在庫に悩む企業の「主治医」として流通の最適化を行なう在庫価値ソリューションの提供及び流通の最適化を目的とした組織運営・経営管理体制の構築に伴いまして、2020年9月期より報告セグメントをこれまでの「メディア事業」「マーケットプレイス事業」「ソリューション事業」「インキュベーション事業」の4セグメントから、「在庫価値ソリューション事業」「商品流通プラットフォーム事業」「インキュベーション事業」の3セグメントへ変更いたしました。

そのため、前年同期比については、前連結会計年度の数値を報告セグメント変更後の数値に組み替えて比較を行っております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (在庫価値ソリューション事業)

当セグメントは、企業が保有する在庫価値の可視化・最適化等を推進するソリューションを主として提供する当社グループの基盤の一つとなるセグメントであります。

AIにより在庫の時価を可視化し、企業が持つ在庫に関する課題を特定し販売価格・品揃えを最適化するサービス「zaicoban」や、複数のEマーケットプレイスへの同時出品・在庫連動等が可能なASPサービス「タテンポガイド」等においては引き続き在庫価値の可視化・最適化ソリューションとして拡販を継続した結果、広告宣伝費の投下を中心とした事業投資を継続的に実施している影響等により、売上高1,932,311千円(前年同期比0.8%増)、営業利益367,824千円(前年同期比8.6%減)となりました。

#### (商品流通プラットフォーム事業)

当セグメントは、企業の滞留在庫・商品等の流通を支援しており、複数のマーケットプレイスの運営や流通を加速させる人材育成スクールの運営等を実施しております。

国内最大級のBtoB仕入れサイト「NETSEA」、寄付型ショッピングサイト「Otameshi」、法人向け商品流動化支援事業「リバリュー」及びオークション教育・個別サポートサービス「オークファンスクール」それぞれにおいて積極的な投資・成長に向けた施策の実行を継続しております。2020年4月には「NETSEA」で月間流通額の過去最高流通額(月間12.6億円)を記録、「リバリュー」では過去最高益を記録した後も継続的に好調を維持しております。また連結子会社SynaBizにおいて企業の在庫再流通を促進することを目的に中古品を中心とした仕入れ・販売事業を新たに第3四半期連結会計期間より開始いたしました。

これらの結果、売上高4,821,198千円(前年同期比19.9%増)、営業利益324,252千円(前年同期比372.4%増)となりました。

(インキュベーション事業)

当セグメントは、事業投資活動を通じて、当社が中長期に亘り競争優位性を構築・維持していくための知見とネットワークを得ることを目的とした事業セグメントであります。

営業投資有価証券の売却及び、投資先企業へのコンサルティング等を実施しており、第3四半期連結会計期間から第4四半期連結会計期間には大型の営業投資有価証券の売却を行いました。

これらの結果、売上高1,270,084千円(前年同期比57.2%増)、営業利益503,625千円(前年同期比12.1%減)となりました。

※ 出所：平成28年度法人企業統計(財務省)などを基に当社試算

(2) 当期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は、12,169,900千円(前連結会計年度末は4,042,482千円)となりました。主な要因といたしましては、現金及び預金が1,350,498千円増加、受取手形及び売掛金が517,338千円増加、投資先である株式会社サイバーセキュリティクラウド(証券コード:4493)の上場に伴う株式の時価評価による影響により営業投資有価証券が6,048,473千円増加した結果であります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は、1,213,044千円(前連結会計年度末は1,472,093千円)となりました。主な要因といたしましては、ソフトウェアが40,262千円増加、繰延税金資産が114,105千円減少、のれんが115,135千円減少した結果であります。

(繰延資産)

当連結会計年度末における繰延資産の計上はありませんでした(前連結会計年度末は931千円)。要因といたしましては、社債発行費が931千円減少した結果であります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債は、2,877,441千円(前連結会計年度末は1,716,799千円)となりました。主な要因といたしましては、短期借入金が833,332千円増加、未払法人税等が289,571千円増加、買掛金が154,497千円増加、1年内償還予定の社債が125,000千円減少、1年内返済予定の長期借入金が61,878千円減少した結果であります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債は、2,389,861千円(前連結会計年度末は576,670千円)となりました。主な要因といたしましては、投資先株式の時価評価により繰延税金負債が1,685,454千円増加、長期借入金が126,226千円増加した結果であります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、8,115,641千円(前連結会計年度末は3,222,038千円)となりました。主な要因といたしましては、投資先株式の時価評価によりその他有価証券評価差額金が4,419,610千円増加、利益剰余金が428,692千円増加、資本金が22,925千円増加、資本剰余金が22,925千円増加した結果であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末より1,350,498千円増加し、2,704,994千円となりました。当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前当期純利益714,900千円、減価償却費242,021千円、のれん償却額115,135千円、営業投資有価証券の減少額354,199千円、仕入債務の増加額150,000千円などの計上に対し、売上債権の増加額516,810千円、たな卸資産の増加額136,960千円、法人税等の支払額148,072千円などにより、営業活動の結果獲得した資金は824,009千円(前年同期は6,669千円の使用)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

差入保証金の回収による収入13,893千円、貸付金の回収による収入10,185千円の計上に対し、有形固定資産の取得による支出7,519千円、無形固定資産の取得による支出300,842千円などにより、投資活動の結果使用した資金は287,410千円(前年同期は322,253千円の使用)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入れによる収入1,700,000千円、長期借入れによる収入500,000千円、新株予約権の行使による株式の発行による収入45,780千円などの計上に対し、短期借入金の返済による支出866,668千円、長期借入金の返済による支出435,652千円、社債の償還による支出125,000千円などにより、財務活動の結果獲得した資金は813,361千円(前年同期は411,003千円の使用)となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年 9月期	2019年 9月期	2020年 9月期
自己資本比率 (%)	46.0	58.2	60.5
時価ベースの自己資本比率 (%)	135.7	147.0	114.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	4.5	—	2.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	50.7	—	91.4

自己資本比率 (%) : 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率 (%) : 株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年) : 有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍) : キャッシュ・フロー/利払い

(注1) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注2) キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注3) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を利用しております。

(注4) 2019年9月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、連結キャッシュ・フロー計算書の営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載を省略しております。

#### (4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、コロナウイルス感染症に伴う市場環境や世界情勢の急激な変化を注視しつつも、オンラインでの商取引の増加やEC比率の増加が引き続き継続するものと想定されることから、当社を取り巻く市場環境は好調に推移するものと思われまます。

このような状況下において当社グループは、流通プラットフォーム事業においては各ECプラットフォームにおける商品流通の増加及びデータを活用した在庫ソリューション事業の各サービスへの需要が一層高まることが予想されることから、継続的な事業成長を一層加速させてまいります。

以上の状況を踏まえ、2021年9月期の連結業績は売上高10,900百万円、営業利益1,300百万円、経常利益1,250百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は800百万円を見込んでおります。

\*上記予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる可能性があります。

#### (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、財務体質の強化並びに将来の事業展開に向けた投資等に備えるため、配当可能利益を全額内部留保とし、現在のところ配当を実施しておりませんが、株主の皆様に対する利益還元については経営の最重要課題の一つとして位置付けており継続的に検討を行っております。当期におきましてはコロナウイルス感染症に伴う当社を取り巻く市場環境が急激に変化していることから、慎重に当社の企業成長・企業存続への施策を検討することとし、さらなる急激な市場変化にも柔軟に対応できるよう内部留保の充実に注力する方針とさせていただく予定です。当社を取り巻く市場環境の安定化及び事業規模や収益が安定成長段階に入ったと判断された時点におきましては、経営成績・財政状態を勘案しながら、配当による株主の皆様への利益還元に努める所存であります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、日本基準により連結財務諸表を作成しております。なお、国際財務報告基準 ( I F R S ) の具体的な適用時期は未定です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当連結会計年度 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,354,496	2,704,994
受取手形及び売掛金	1,011,730	1,529,069
営業投資有価証券	1,243,962	7,292,436
商品	134,554	261,439
仕掛品	974	314
貯蔵品	2,510	536
未収入金	213,232	203,662
その他	138,726	210,806
貸倒引当金	△57,704	△33,359
流動資産合計	4,042,482	12,169,900
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	57,569	50,358
工具、器具及び備品(純額)	36,396	27,774
その他(純額)	3,098	6,041
有形固定資産合計	97,064	84,173
無形固定資産		
のれん	391,289	276,154
ソフトウェア	425,008	465,271
ソフトウェア仮勘定	49,630	19,740
その他	1,442	1,810
無形固定資産合計	867,371	762,976
投資その他の資産		
長期貸付金	54,361	44,175
繰延税金資産	277,724	163,619
その他	175,571	158,099
投資その他の資産合計	507,657	365,894
固定資産合計	1,472,093	1,213,044
繰延資産		
社債発行費	931	—
繰延資産合計	931	—
資産合計	5,515,508	13,382,944
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	250,301	404,799
短期借入金	300,000	1,133,332
1年内償還予定の社債	125,000	—
1年内返済予定の長期借入金	398,986	337,108
未払法人税等	107,177	396,748
未払金	332,468	405,191
ポイント引当金	3,862	1,065
その他	199,003	199,196
流動負債合計	1,716,799	2,877,441
固定負債		
長期借入金	572,183	698,409
繰延税金負債	—	1,685,454
その他	4,487	5,997
固定負債合計	576,670	2,389,861
負債合計	2,293,469	5,267,303

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当連結会計年度 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	861,157	884,082
資本剰余金	831,997	854,922
利益剰余金	1,727,899	2,156,591
自己株式	△203,171	△203,171
株主資本合計	3,217,883	3,692,425
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△9,385	4,410,224
その他の包括利益累計額合計	△9,385	4,410,224
新株予約権	7,130	6,968
非支配株主持分	6,410	6,023
純資産合計	3,222,038	8,115,641
負債純資産合計	5,515,508	13,382,944

(2) 連結損益及び包括利益計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
売上高	6,636,469	7,874,480
売上原価	3,500,066	4,748,255
売上総利益	3,136,403	3,126,224
販売費及び一般管理費	2,456,646	2,305,339
営業利益	679,756	820,884
営業外収益		
受取利息及び配当金	912	904
為替差益	276	—
助成金収入	570	665
社会保険料還付金	1,407	—
その他	4,323	5,159
営業外収益合計	7,490	6,729
営業外費用		
支払利息	8,324	8,809
リース解約損	1,575	4,202
控除対象外消費税等	1,044	2,214
その他	4,188	3,400
営業外費用合計	15,131	18,627
経常利益	672,114	808,986
特別利益		
子会社株式売却益	66,373	—
新株予約権戻入益	815	92
その他	277	—
特別利益合計	67,466	92
特別損失		
減損損失	104,189	77,156
固定資産売却損	—	859
固定資産除却損	20,590	0
賃貸借契約解約損	—	14,699
関係会社整理損	—	1,463
その他	4,230	—
特別損失合計	129,010	94,178
税金等調整前当期純利益	610,571	714,900
法人税、住民税及び事業税	176,394	435,454
法人税等調整額	103,365	△148,859
法人税等合計	279,759	286,595
当期純利益	330,811	428,304
(内訳)		
親会社株主に帰属する当期純利益	327,178	428,692
非支配株主に帰属する当期純利益	3,632	△387

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△26,240	4,419,610
その他の包括利益合計	△26,240	4,419,610
包括利益	304,570	4,847,914
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	300,938	4,848,302
非支配株主に係る包括利益	3,632	△387

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	679,591	650,361	1,400,720	△43,251	2,687,422
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	181,566	181,566			363,132
親会社株主に帰属する当期純利益			327,178		327,178
自己株式の取得				△159,920	△159,920
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		70			70
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	181,566	181,636	327,178	△159,920	530,460
当期末残高	861,157	831,997	1,727,899	△203,171	3,217,883

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	16,855	16,855	8,500	4,380	2,717,158
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)					363,132
親会社株主に帰属する当期純利益					327,178
自己株式の取得					△159,920
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					70
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△26,240	△26,240	△1,369	2,029	△25,580
当期変動額合計	△26,240	△26,240	△1,369	2,029	504,880
当期末残高	△9,385	△9,385	7,130	6,410	3,222,038

当連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	861,157	831,997	1,727,899	△203,171	3,217,883
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	22,925	22,925			45,850
親会社株主に帰属する当期純利益			428,692		428,692
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	22,925	22,925	428,692	—	474,542
当期末残高	884,082	854,922	2,156,591	△203,171	3,692,425

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	△9,385	△9,385	7,130	6,410	3,222,038
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)					45,850
親会社株主に帰属する当期純利益					428,692
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	4,419,610	4,419,610	△162	△387	4,419,060
当期変動額合計	4,419,610	4,419,610	△162	△387	4,893,602
当期末残高	4,410,224	4,410,224	6,968	6,023	8,115,641

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	610,571	714,900
減価償却費	263,032	242,021
のれん償却額	145,957	115,135
減損損失	104,189	77,156
貸倒引当金の増減額(△は減少)	22,414	△24,344
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△1,827	△2,797
受取利息及び受取配当金	△912	△904
支払利息	8,324	8,809
子会社株式売却損益(△は益)	△66,373	—
固定資産除却損	20,590	0
固定資産売却損益(△は益)	—	859
賃貸借契約解約損	—	14,699
売上債権の増減額(△は増加)	△431,294	△516,810
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△415,061	354,199
たな卸資産の増減額(△は増加)	△14,491	△136,960
仕入債務の増減額(△は減少)	△31,181	150,000
未払金の増減額(△は減少)	△13,744	72,303
その他	△49,039	△73,371
小計	151,153	994,895
利息及び配当金の受取額	912	904
利息の支払額	△8,347	△9,019
賃貸借契約解約による支払額	—	△14,699
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△150,387	△148,072
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,669	824,009
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△12,218	△7,519
無形固定資産の取得による支出	△302,757	△300,842
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△24,327	—
差入保証金の回収による収入	1,637	13,893
差入保証金の差入による支出	△195	△100
貸付金の回収による収入	25,933	10,185
貸付けによる支出	△13,313	—
その他	2,988	△3,027
投資活動によるキャッシュ・フロー	△322,253	△287,410
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	500,000	1,700,000
短期借入金の返済による支出	△500,000	△866,668
長期借入れによる収入	—	500,000
長期借入金の返済による支出	△484,239	△435,652
社債の償還による支出	△125,000	△125,000
自己株式の取得による支出	△159,920	—
新株予約権の行使による株式の発行による収入	362,577	45,780
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,532	—
リース債務の返済による支出	△2,889	△2,682
その他	—	△2,416
財務活動によるキャッシュ・フロー	△411,003	813,361
現金及び現金同等物に係る換算差額	△301	537
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△740,228	1,350,498
現金及び現金同等物の期首残高	2,094,725	1,354,496
現金及び現金同等物の期末残高	1,354,496	2,704,994

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度において営業外費用の「その他」に表示しておりました「控除対象外消費税等」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組み替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、営業外費用の「その他」に表示していた5,232千円は、「控除対象外消費税等」1,044千円、「その他」4,188千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、「在庫価値ソリューション事業」、「商品流通プラットフォーム事業」及び「インキュベーション事業」の3つを報告セグメントとしております。

当連結会計年度より、在庫に悩む企業の「主治医」として流通の最適化を行なう在庫価値ソリューションの提供及び流通の最適化を目的とした組織運営・経営管理体制の構築に伴いまして、報告セグメントを従来の「メディア事業」、「マーケットプレイス事業」、「ソリューション事業」及び「インキュベーション事業」の4区分から、「在庫価値ソリューション事業」、「商品流通プラットフォーム事業」及び「インキュベーション事業」の3区分に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

各セグメントに属するサービスの内容は、以下のとおりであります。

①在庫価値ソリューション事業

流通相場データを活用した「オークファンプロPlus」や、複数のEマーケットプレイスへの同時出品・在庫連動等が可能なASPサービス「タテンポガイド」、AIにより在庫の時価を可視化し、企業が持つ在庫に関する課題を特定し販売価格・品揃えを最適化するサービス「zaicoban」の運営等

②商品流通プラットフォーム事業

国内最大級のBtoB仕入れサイト「NETSEA」、寄付型ショッピングサイト「Otameshi」、法人向け商品流動化支援事業「リバリュー」及びオークション教育・個別サポートサービス「オークファンスクール」の運営等

③インキュベーション事業

上記事業と関連性の高い事業への投資実行(キャピタルゲイン)及び同事業へのコンサルティングサービスの提供等

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースであり合計額は連結損益及び包括利益計算書の金額と一致しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務 諸表計上額 (注) 3
	在庫価値 ソリューション	商品流通 プラットフォーム	インキュ ベーション	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,792,346	3,999,053	807,776	6,599,177	37,292	6,636,469	—	6,636,469
セグメント間の内部 売上高又は振替高	124,298	23,221	—	147,520	4,395	151,915	△151,915	—
計	1,916,645	4,022,274	807,776	6,746,697	41,687	6,788,385	△151,915	6,636,469
セグメント利益又は 損失(△)	402,332	68,635	573,182	1,044,151	△7,740	1,036,410	△356,654	679,756
セグメント資産	637,609	1,778,594	1,324,457	3,740,661	—	3,740,661	1,774,847	5,515,508
その他の項目								
減価償却費	150,499	95,127	—	245,627	7,753	253,381	9,650	263,032
のれん償却額	16,296	127,405	—	143,702	616	144,318	1,638	145,957
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	198,163	95,905	—	294,068	11,099	305,167	12,188	317,355

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システムアプリケーションの企画・開発・運用事業を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失(△)の調整額△356,654千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。
- (2) セグメント資産の調整額1,774,847千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社資産(現金及び預金、管理部門に係る有形固定資産等)が含まれております。
- (3) 減価償却費の調整額9,650千円、のれん償却額の調整額1,638千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額12,188千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産(管理部門に係る有形固定資産等)が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上額 (注) 2
	在庫価値 ソリューション	商品流通 プラットフォーム	インキュ ベーション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,789,412	4,814,983	1,270,084	7,874,480	—	7,874,480
セグメント間の内部 売上高又は振替高	142,899	6,214	—	149,113	△149,113	—
計	1,932,311	4,821,198	1,270,084	8,023,594	△149,113	7,874,480
セグメント利益	367,824	324,252	503,625	1,195,702	△374,817	820,884
セグメント資産	674,895	2,824,584	7,331,581	10,831,060	2,551,884	13,382,944
その他の項目						
減価償却費	151,058	81,158	—	232,217	9,803	242,021
のれん償却額	—	115,135	—	115,135	0	115,135
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	234,576	76,618	—	311,194	6,485	317,679

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△374,817千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。
  - (2) セグメント資産の調整額2,551,884千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社資産(現金及び預金、管理部門に係る有形固定資産等)が含まれております。
  - (3) 減価償却費の調整額9,803千円、のれん償却額の調整額0千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。
  - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額6,485千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産(管理部門に係る有形固定資産等)が含まれております。
2. セグメント利益は、連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	在庫価値 ソリューション	商品流通 プラットフォーム	インキュ ベーション	その他	合計
外部顧客への売上高	1,792,346	3,999,053	807,776	37,292	6,636,469

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
GMOペイメントゲートウェイ株式会社 (注) 2	799,376	在庫価値ソリューション及び 商品流通プラットフォーム

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 回収代行契約を締結しており、上記金額は一般顧客に対する回収代行依頼金額を記載しております。

当連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:千円)

	在庫価値 ソリューション	商品流通 プラットフォーム	インキュ ベーション	合計
外部顧客への売上高	1,789,412	4,814,983	1,270,084	7,874,480

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社SBI証券 (注) 2	1,231,246	インキュベーション

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 営業投資有価証券の売却による売上金額を記載しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自2018年10月1日 至2019年9月30日)

(単位:千円)

	在庫価値 ソリューション	商品流通 プラットフォーム	インキュ ベーション	計	その他	全社・消去	合計
減損損失	34,980	68,462	—	103,442	—	746	104,189

(注)「全社・消去」の金額は、報告セグメントに帰属しない全社資産に係る減損損失であります。

当連結会計年度(自2019年10月1日 至2020年9月30日)

(単位:千円)

	在庫価値 ソリューション	商品流通 プラットフォーム	インキュ ベーション	計	全社・消去	合計
減損損失	52,299	24,857	—	77,156	—	77,156

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自2018年10月1日 至2019年9月30日)

(単位:千円)

	在庫価値 ソリューション	商品流通 プラットフォーム	インキュ ベーション	計	その他	全社・消去	合計
当期償却額	16,296	127,405	—	143,702	616	1,638	145,957
当期末残高	—	391,289	—	391,289	—	0	391,289

(注)「全社・消去」の金額は、報告セグメントに帰属しない全社資産に係る当期償却額、未償却残高であります。

当連結会計年度(自2019年10月1日 至2020年9月30日)

(単位:千円)

	在庫価値 ソリューション	商品流通 プラットフォーム	インキュ ベーション	計	全社・消去	合計
当期償却額	—	115,135	—	115,135	0	115,135
当期末残高	—	276,154	—	276,154	0	276,154

(注)「全社・消去」の金額は、報告セグメントに帰属しない全社資産に係る当期償却額、未償却残高であります。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自2018年10月1日 至2019年9月30日)及び当連結会計年度(自2019年10月1日 至2020年9月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり純資産額	312.95円	784.95円
1株当たり当期純利益	32.54円	41.81円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	31.22円	41.14円

(注) 1. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	327,178	428,692
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	327,178	428,692
普通株式の期中平均株式数(株)	10,054,374	10,252,911
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	425,124	166,843
(うち新株予約権(株))	(425,124)	(166,843)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当連結会計年度 (2020年9月30日)
純資産の部の合計額(千円)	3,222,038	8,115,641
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	13,541	12,991
(うち新株予約権(千円))	(7,130)	(6,968)
(うち非支配株主持分(千円))	(6,410)	(6,023)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,208,497	8,102,649
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	10,252,549	10,322,467

(重要な後発事象)

該当事項はありません。